

創刊にあたって

このたび『北海道博物館研究紀要』を創刊するはこびとなりました。

北海道博物館は、昭和46年開館の「北海道開拓記念館」と平成6年開設の「北海道立アイヌ民族文化研究センター」が統合され、平成27年4月に北海道の自然・歴史・文化を広く扱う総合博物館としてオープンいたしました。北海道博物館の開設に当たりまして、道立博物館として果たすべき社会的使命や基本方針などを明文化して、今後の博物館活動の指針としました。その基本方針の一つとして、北海道とそれを取り巻く地域の自然・歴史・文化を学際的に調査研究するとともに、その研究成果を活かして北海道の豊かな未来づくりに貢献することを掲げています。

これを実現するために調査研究推進に関する基本方針を策定するとともに、調査研究のための組織として、5つの研究グループ（自然研究グループ、歴史研究グループ、生活文化研究グループ、博物館研究グループ、アイヌ文化研究グループ）を設けました。各研究グループは、それぞれの専門領域ごとに、また相互に連携しながら、さまざまな調査研究プロジェクトを実施しています。

新たに創刊します『北海道博物館研究紀要』は、現在進行中の調査研究プロジェクトをはじめ、科学研究費補助金などの外部資金による各学芸職員・研究職員の調査研究や、展示および普及事業など博物館の諸活動において得た新たな知見など、当館が実施している各種の調査研究などの成果を広く公開し、社会に還元するために刊行するものであります。なお、北海道博物館に附置されています「アイヌ民族文化研究センター」はセンター事業の一環として、『北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究紀要』を刊行しますので、併せてご参照いただければ幸いに存じます。

北海道博物館として刊行いたします各種の調査研究成果が、北海道民の豊かな暮らしづくりと北海道の未来づくりに貢献することを心より念じております。

平成28年3月

北海道博物館長
石森秀三